

2 質問紙調査の結果

(1) 児童生徒質問紙

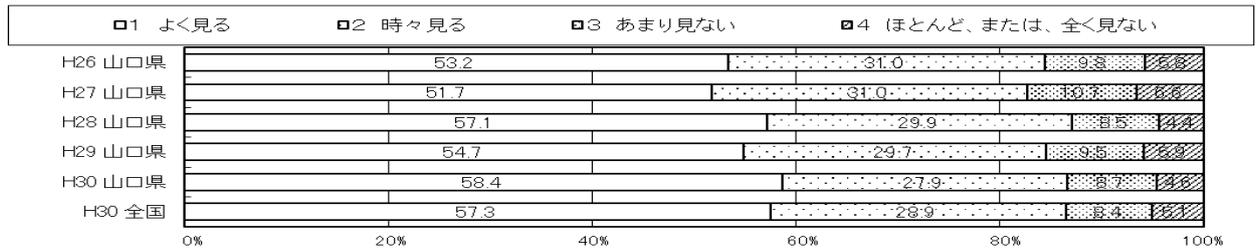
① 家庭での生活習慣

ア テレビやインターネットでのニュース視聴

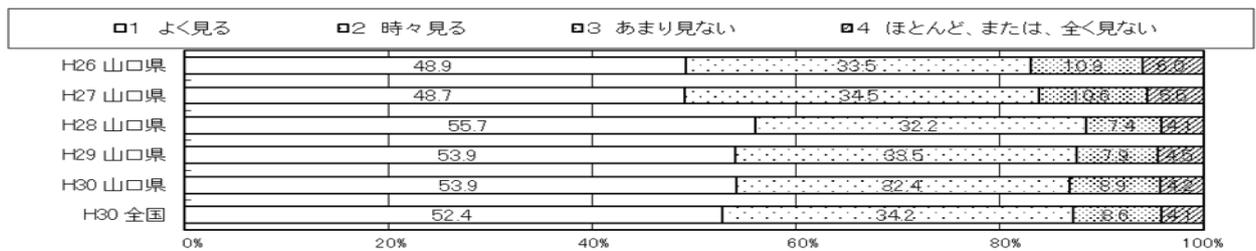
○ テレビのニュース番組やインターネットのニュースをよく見ると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

☞ 児童生徒が、地域や社会に関心をもつだけでなく、幅広く情報を収集し、それらを整理・分析する力を育む学習活動を設定することが大切です。

【小学校】 (26)テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか



【中学校】 (26)テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか

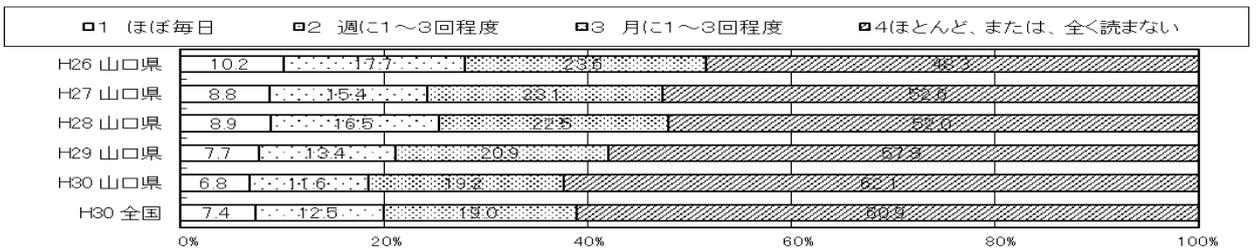


イ 新聞を読んでいる

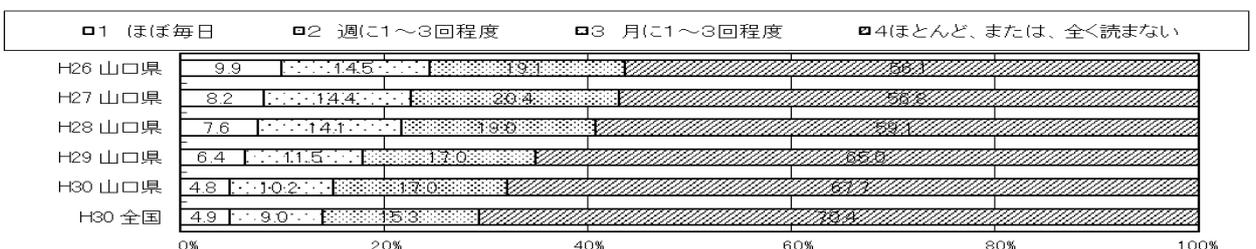
● 新聞をほとんど、または、全く読まないと回答した児童生徒の割合は増加傾向が見られる。

☞ 地域や社会の動きに関心をもつことや情報活用能力の育成など、新聞のよさや効果を考え、学びの資料として活用することが大切です。

【小学校】 (25)新聞を読んでいますか



【中学校】 (25)新聞を読んでいますか



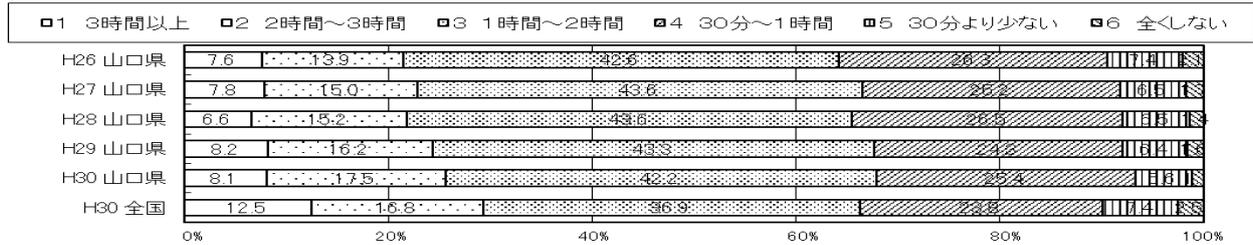
② 家庭での学習習慣

ア 平日の学習時間

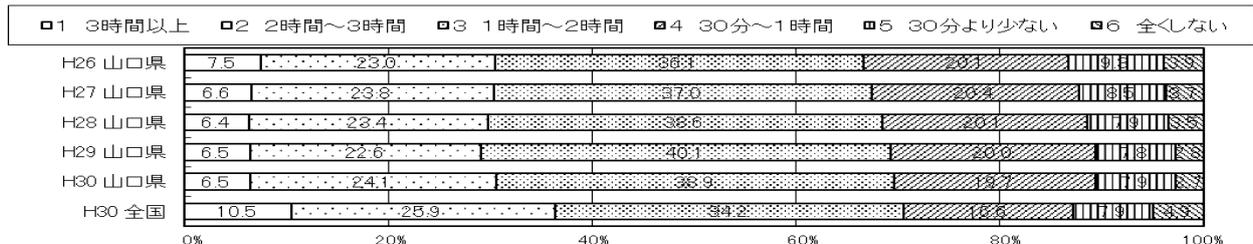
- 学校の授業時間以外に、平日、1日あたりに1時間以上勉強する児童生徒の割合は増加傾向にあるものの、2時間以上勉強する児童生徒の割合は、全国と比べて低い。

☞ 平日に、一定時間以上学習する児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。引き続き、家庭との連携・協力を密にし、平日の限られた時間を工夫しながら家庭学習に取り組む習慣を定着させていくとともに、学習する内容の質的向上を図る指導を充実することが大切です。

【小学校】 (14)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

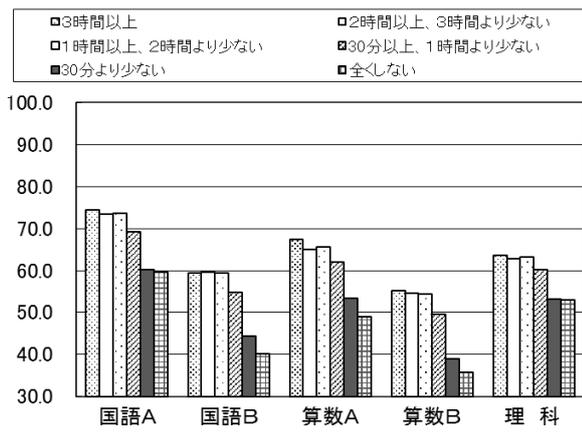


【中学校】 (14)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

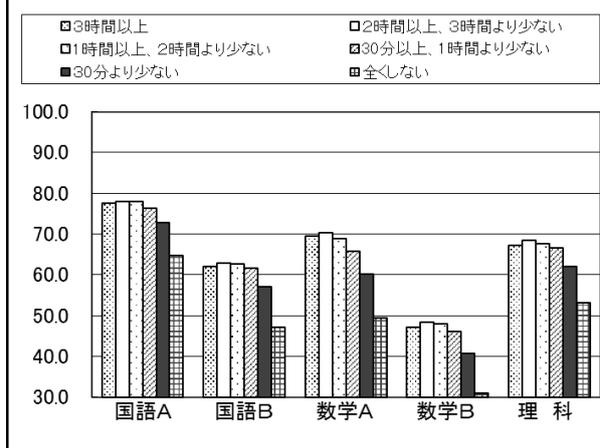


[教科の正答率との関係]

【小学校】 平日の勉強時間(1日当たり・学校の授業時間以外)



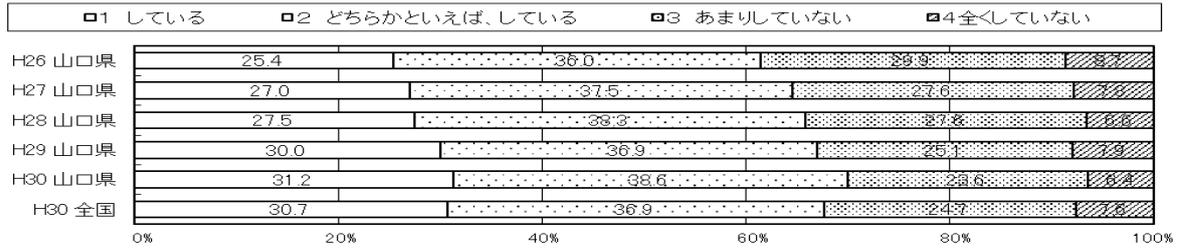
【中学校】 平日の勉強時間(1日当たり・学校の授業時間以外)



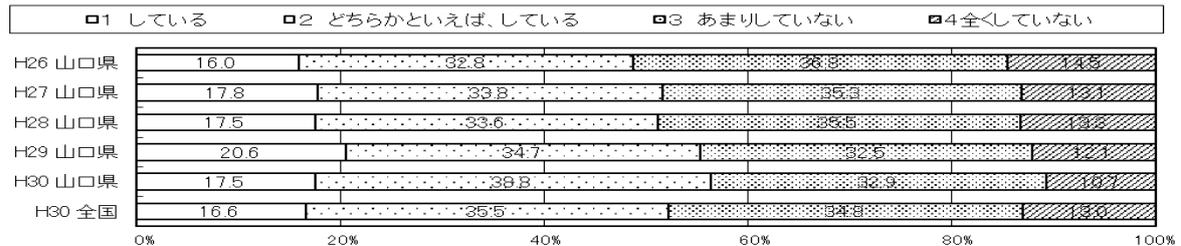
イ 自分で計画を立てた学習

- 家で、自分で計画を立てて勉強している、または、どちらかといえばしていると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。
- 全くしていないと回答した生徒の割合は10.7%である。
- ☞ 家庭学習の手引きを活用し、具体的な学習計画の立て方を指導したり、身近な好事例を示したりすることで、児童生徒が見通しをもって学習する習慣を確立できるよう、今後も、継続した指導が必要です。

【小学校】 (10) 自分で計画を立てて勉強をしている

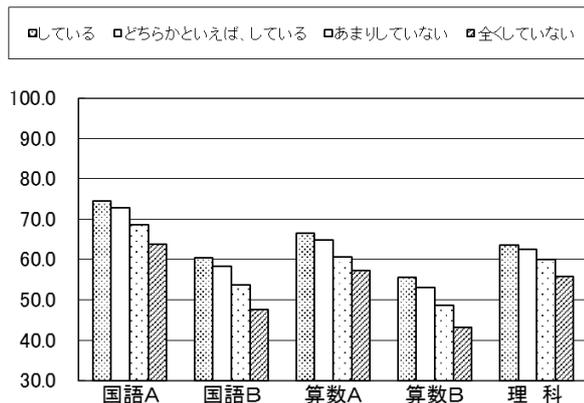


【中学校】 (10) 自分で計画を立てて勉強をしている

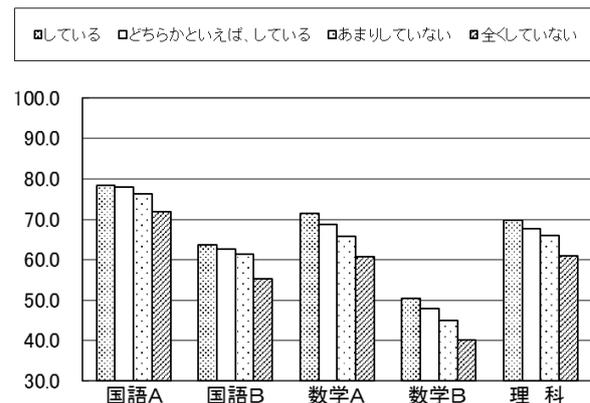


[教科の正答率との関係]

【小学校】自分で計画を立てて勉強をしている



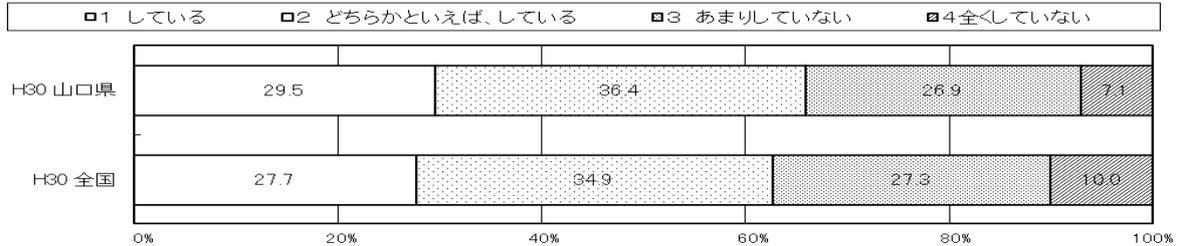
【中学校】自分で計画を立てて勉強をしている



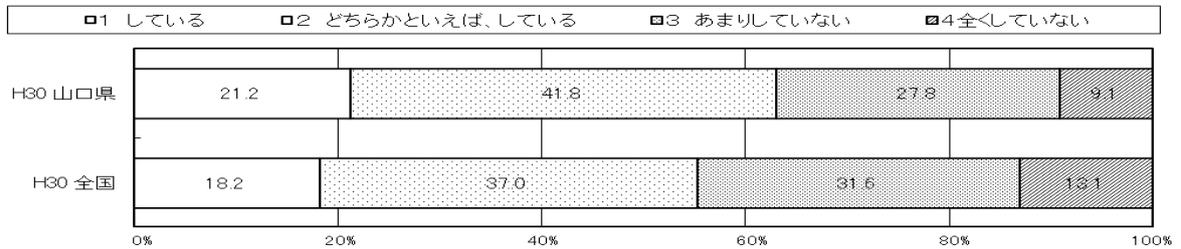
ウ 学校の授業の予習・復習

- 学校の授業の予習・復習をしている、または、どちらかと言えばしていると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。
- ☞ 日々の授業において、予習・復習など、家庭での学習課題を適切に与えたり、発達の段階に応じた学習計画の立て方や学び方を指導したりすることが大切です。

【小学校】 (12)学校の予習・復習をしている



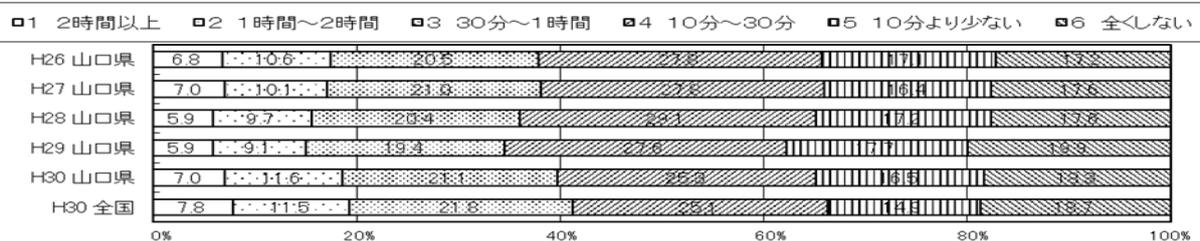
【中学校】 (12)学校の予習・復習をしている



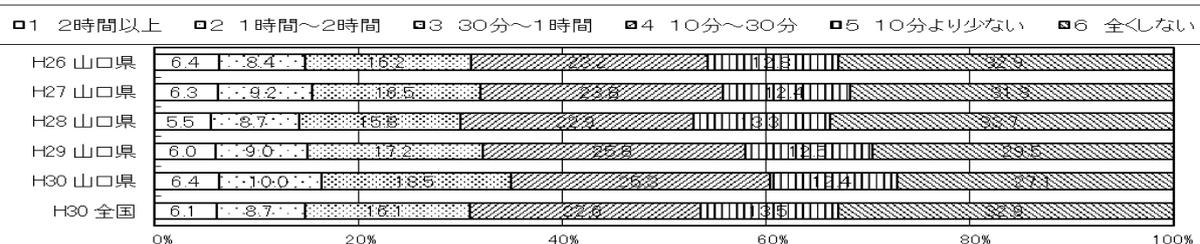
エ 平日の読書時間

- 平日に読書をする児童生徒の割合は、全国と比べて高い。
- 平日に全く読書をしないと回答した児童の割合は18.3%、生徒の割合は27.1%である。
- ☞ 引き続き、児童生徒が読書の楽しさに触れる機会をもつことができるよう、学校での朝読書の時間の設定や、授業での学校図書館等の利用を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となって読書習慣の定着を図る必要があります。

【小学校】 (15)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



【中学校】 (15)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか

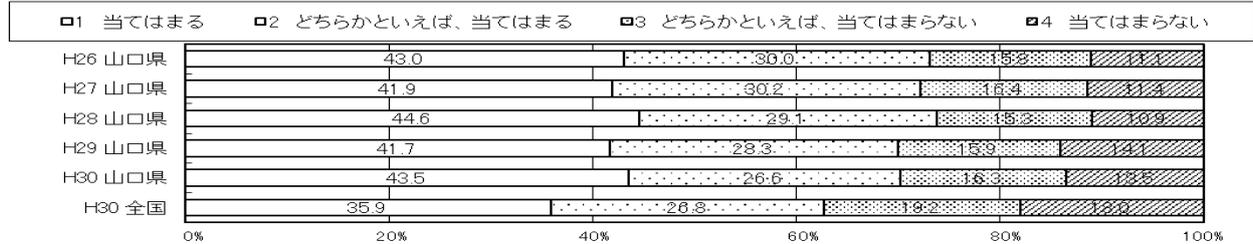


③ 地域との関わり

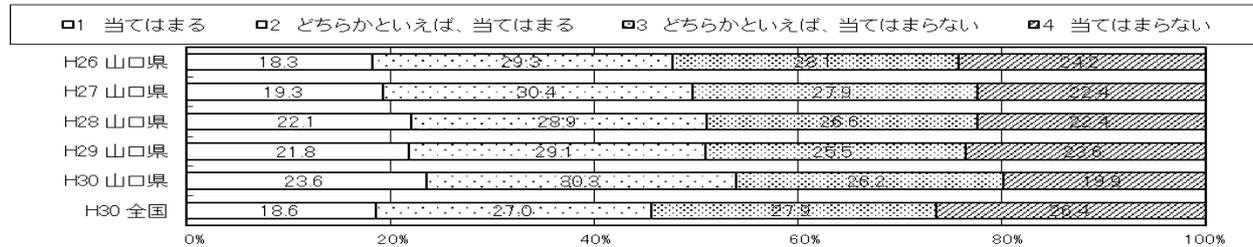
ア 地域行事への参加

- 今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。
- ☞ 今後も、コミュニティ・スクールの仕組み等を活用して、地域や伝統、文化に対する理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育む教育活動のさらなる充実を図ることが大切です。

【小学校】 (20) 今住んでいる地域の行事に参加している



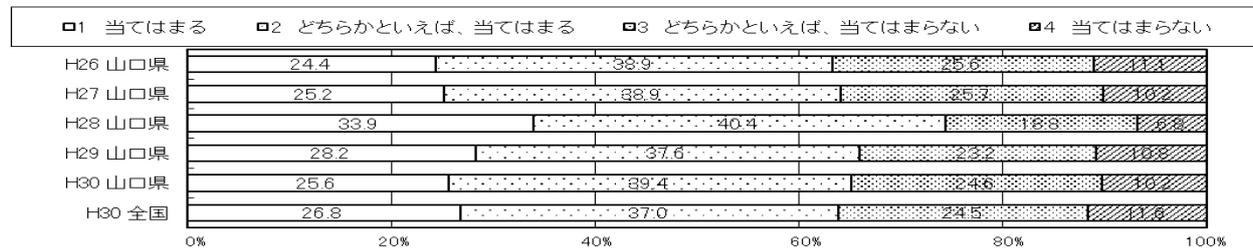
【中学校】 (20) 今住んでいる地域の行事に参加している



イ 地域や社会で起こっている問題や出来事への関心

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、減少傾向が見られる。
- ☞ コミュニティ・スクールの仕組み等を活用して、児童生徒が、地域を身近に感じ、様々な出来事に関心を持ち、地域や社会とのつながりを大切にするための教育活動や指導の充実が求められます。

【小学校】 (21) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある



【中学校】 (21) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある

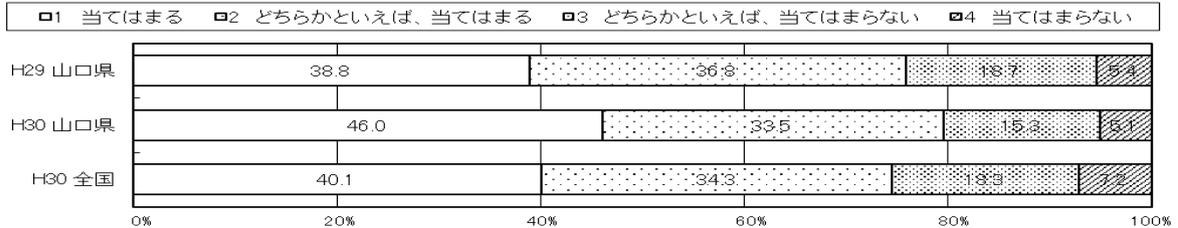


ウ 授業等で地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機会

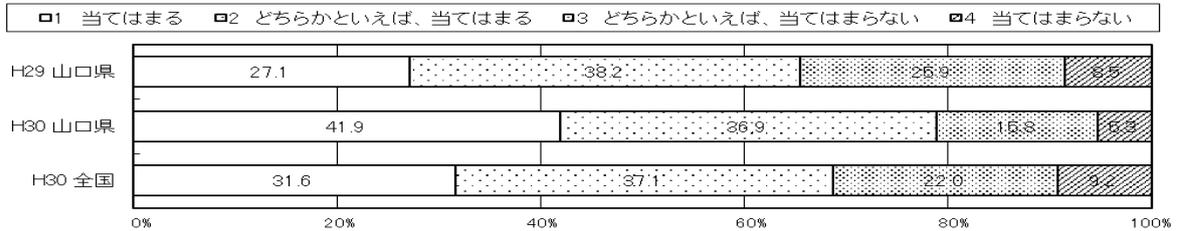
○ 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

☞ コミュニティ・スクールの仕組み等を活用して、地域のもの・人とのつながりを大切にし、地域とともにある学校づくりを推進していくカリキュラム・マネジメントが求められます。

【小学校】 (19) 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う



【中学校】 (19) 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う

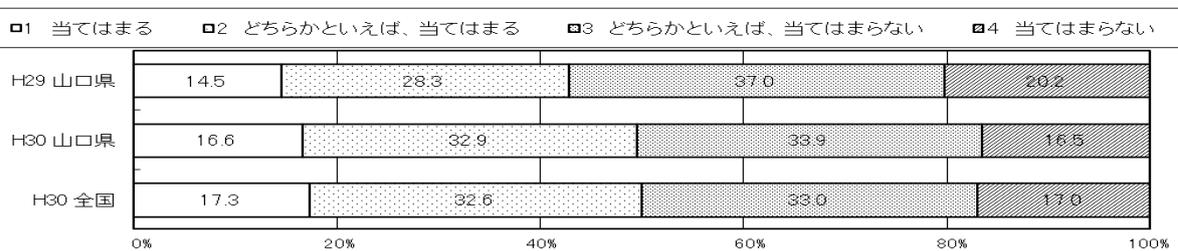


エ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える

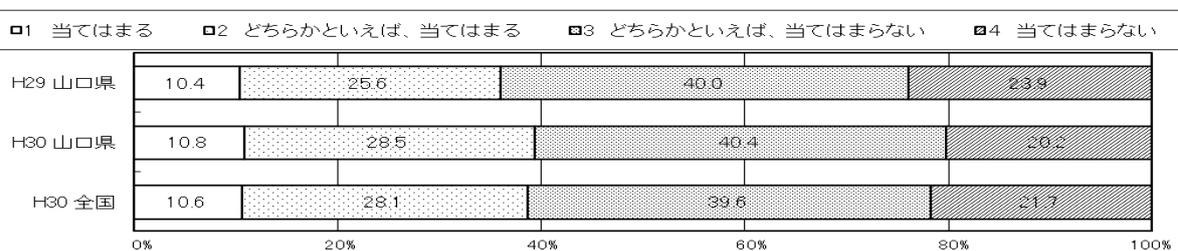
○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合は、増加傾向が見られる。

☞ 今後も、コミュニティ・スクールの仕組み等を活用して、地域とのつながりや地域貢献の意識を高める教育活動や指導の充実が求められます。

【小学校】 (22) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



【中学校】 (22) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



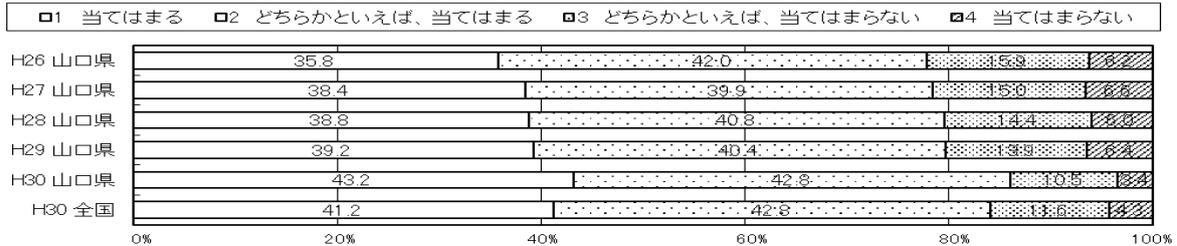
④ 子どもたちの意識

ア 自分にはよいところがある

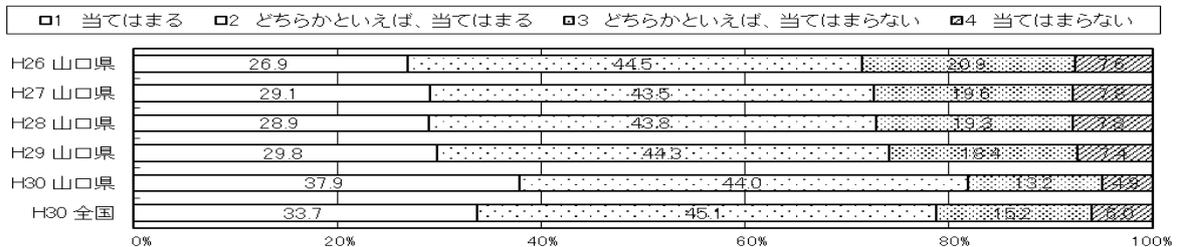
○ 自分にはよいところがあると思うと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

☞ 今後も、教員や保護者、地域住民等の多様な大人たちとの関わりの中で、自分のよさを具体的に認めたり適切に評価したりできる機会の設定や指導の一層の充実を図り、児童生徒の自己肯定感を育むことが大切です。

【小学校】 (1)自分には、よいところがあると思う



【中学校】 (1)自分には、よいところがあると思う



イ いじめは絶対にいけない

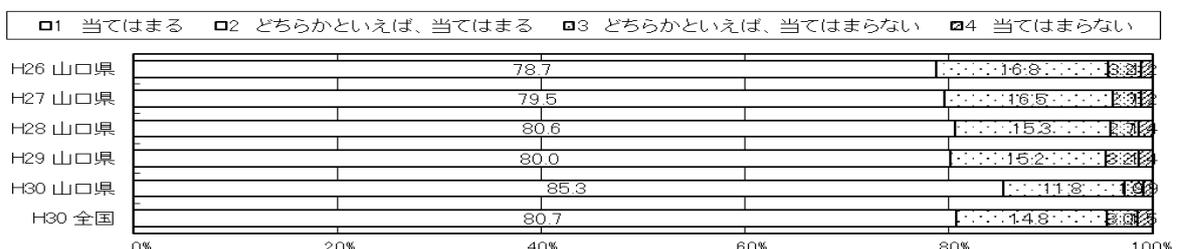
○ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

☞ 全ての児童生徒が、いじめはどんな理由があってもいけないという認識をもつことが重要であり、今後も、様々な教育活動の中で人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を推進することが大切です。

【小学校】 (5)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



【中学校】 (5)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

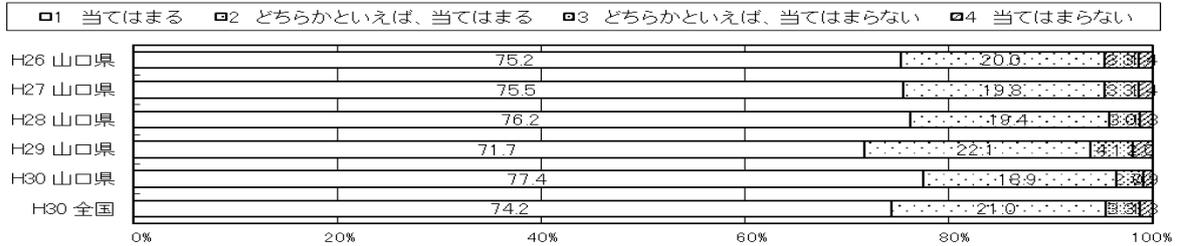


ウ 人の役に立つ人間になりたい

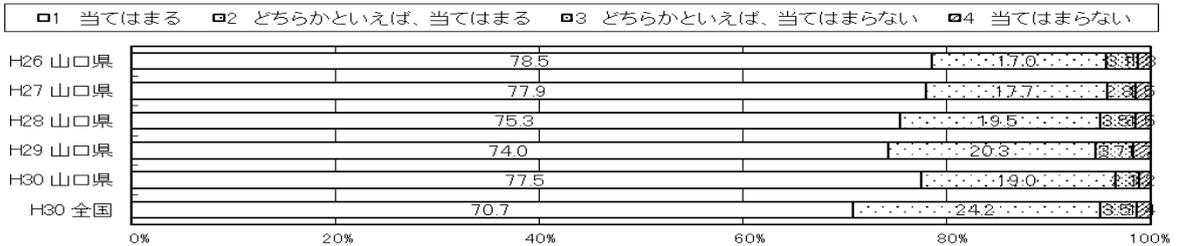
○ 人の役に立つ人間になりたいと思うと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

☞ 今後、道徳科の授業改善や様々な体験活動の充実により、児童生徒の自己有用感を高めていくことが大切です。

【小学校】 (6)人の役に立つ人間になりたいと思う



【中学校】 (6)人の役に立つ人間になりたいと思う

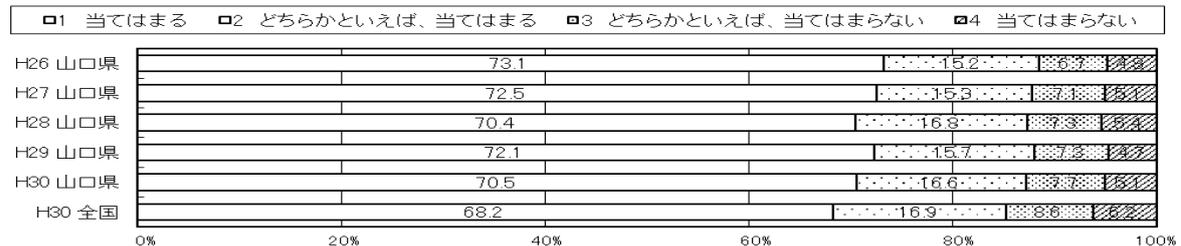


エ 将来の夢や目標を持っている

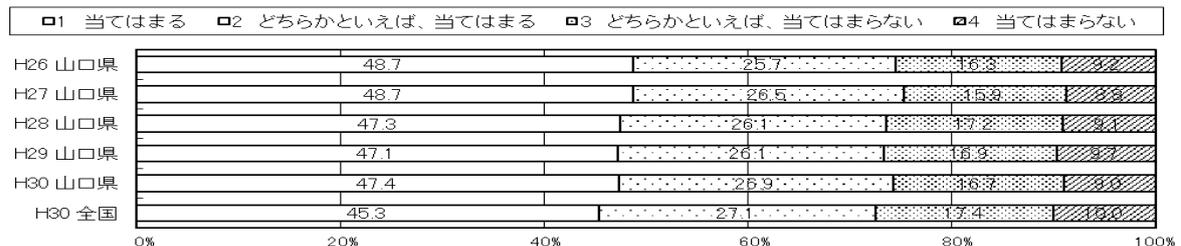
● 将来の夢や目標を持っていると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて高いものの、小学校において、減少傾向が見られる。

☞ 特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図り、学校で学ぶことと社会との接続を意識させることが大切です。

【小学校】 (3)将来の夢や目標を持っている



【中学校】 (3)将来の夢や目標を持っている



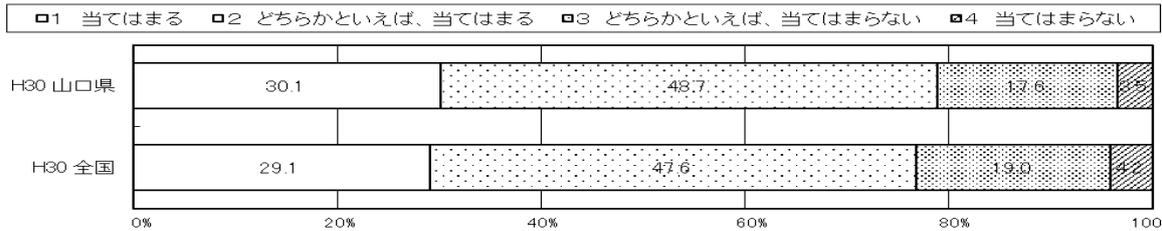
⑤ 学校の授業や活動

ア 課題の解決に向けた主体的な取組

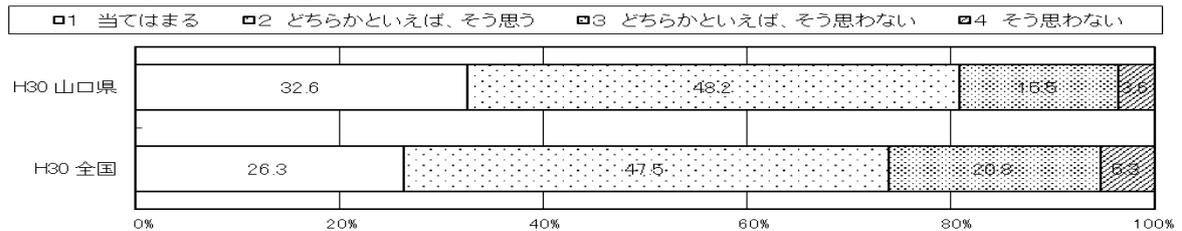
○ 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。

☞ 肯定的な回答をした児童生徒の平均正答率が高い傾向が見られます。今後も、児童生徒が学習活動の見直しをもったり、学習した内容を振り返ったりする活動の充実を図るなど、児童生徒の主体的な学びの実現に向けた授業改善を推進することが大切です。

【小学校】 (55)5年生までに受けた授業について、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う

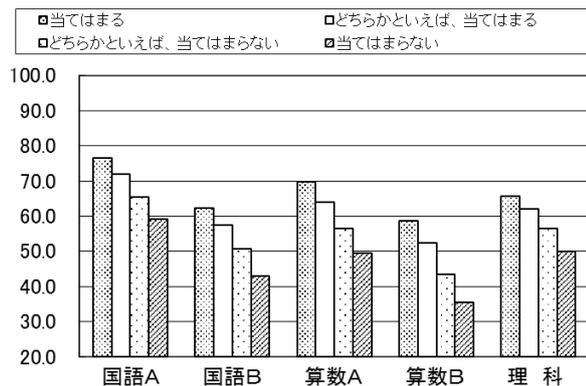


【中学校】 (52)1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う

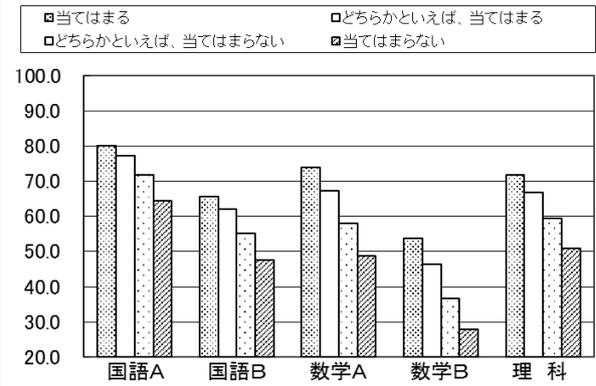


[教科の正答率との関係]

【小学校】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う



【中学校】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う

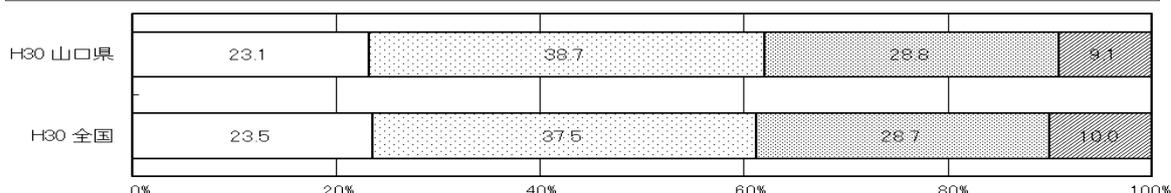


イ 資料や文章、話の組立てなどを工夫した発表

- 授業等において、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。
- ☞ 今後も、伝える目的や相手を明確にして話し合いの中で自分の考えをしっかりと発表したり、友達の意見に耳を傾けたりする学習活動や、活動を振り返り、改善点を見出す等の学習活動の一層の充実を図ることが大切です。

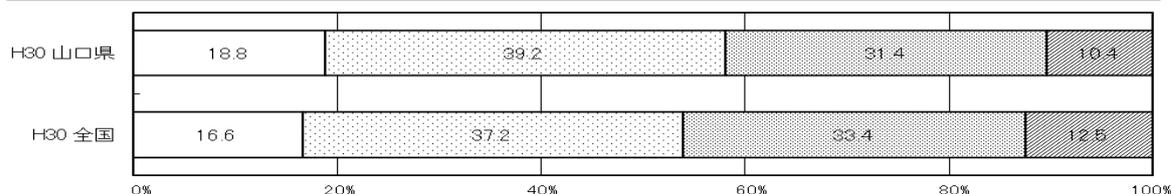
【小学校】 (56)5年生までに受けた授業について、授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (53)1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、そう思う □3 どちらかといえば、そう思わない □4 そう思わない

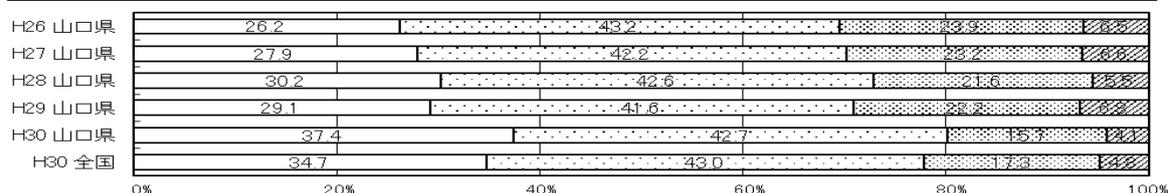


ウ 話し合いで自分の考えを深めたり広げたりする

- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりすることができていると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高い。
- ☞ 今後も、各教科等の特徴に応じた言語活動をどのような場面で、またどのような工夫を行い、取り入れるかを考え、計画的・継続的に改善・充実を図ることが大切です。

【小学校】 (57)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている

□1 そう思う □2 どちらかといえば、そう思う □3 どちらかといえば、そう思わない □4 そう思わない



【中学校】 (54)生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている

□1 そう思う □2 どちらかといえば、そう思う □3 どちらかといえば、そう思わない □4 そう思わない

